

講義科目 : 環境政策論	単位数 : 2
担当 : 南 有哲	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

21世紀の市民にとっては、環境問題について生活者の立場から発言し行動するだけでは不十分であり、政治に参加する権利を持つ者として環境政策に積極的にかかわっていくことが求められるものと考えられる。本講義の目標は、環境政策を考える上での基本的な概念となる「環境問題」「市場経済」「国家」について概観した後、現代における環境政策の核心ともいえる「気候政策」について説明し、あるべき環境政策のあり方について考察する予定である。

授業計画

- 第1回 はじめに一「人新世」としての現代
- 第2回 自然と人間の関係について
- 第3回 環境問題の一般的構図
- 第4回 環境破壊の人類史—先史時代から中世まで②
- 第5回 工業化について
- 第6回 市場経済と共同体
- 第7回 市場経済の必然的所産としての環境問題
- 第8回 市場経済と国家
- 第9回 南北問題の背景史—新大陸征服・奴隷貿易・植民地支配
- 第10回 南北問題の現状
- 第11回 南北問題と環境破壊
- 第12回 気候政策の国際的展開—気候変動枠組条約と京都議定書
- 第13回 気候政策の国際的展開—パリ協定とそれ以降
- 第14回 日本における気候政策①—旧自公政権期から民主党政権期
- 第15回 日本における気候政策②—新自公政権と気候政策の新展開
- 第16回 定期試験

教材・テキスト・参考文献等

講義中適宜指示する。

成績評価方法

- ・ 毎回小レポート…50%
- ・ 定期試験…50%